

全国高校サッカー

長総大付 3回戦へ 県勢通算100勝



サッカーの第100回全国高校選手権第3日は31日、2回戦が行われ、長崎県代表の長崎総合科学大付は堀越（東京△）に1-0で競り勝ち、県勢通算100勝を達成した。後半21分、長総大付のDF原口（中央）がゴールを決めて雄たけびを上げる

＝東京・駒沢陸上競技場（濱崎武撮影）【記事は21面】

DF原口 2戦連続弾

第100回 全国高校サッカー選手権

サッカーの第100回全国高校選手権第3日は31日、東京・駒沢陸上競技場など8会場です。2回戦16試合が行われ、長崎県代表の長崎総合科学大付は前回8強の堀越(東京A)に1-0で競り勝ち、3大会ぶりに3回戦へ進んだ。長崎県勢は選手権通算100勝目。長総大付は1回戦に続いて小嶺監督が不在で、前半は序盤から豊富な運動量を生かして猛攻を仕掛けたが、得点は奪えずに0-0で折り返した。

長総大付 堀越に1-0

後半に入った後も走力は落ちず、FW永田MF高良らが鋭いシュートを放って相手に重圧をかけると、21分にDF平山の右CKをDF原口が頭で合わせて2試合連続ゴール。これが決勝点となった。

ハイライト

第100回の記念大会で、県勢通算100勝の節目に到達した。メモリアル勝利を挙げたのは、やはり1人のチーム。名將・小嶺監督率いる長崎総合科学大付が1回戦に続いてCKから先制1点を守りきり、3大会ぶりの3回戦進出を決めた。アクションをはね返した。ピッチ内の精神的支柱。

△2回戦 長崎総合科学大付 堀越 1-0-0 (東京A) 越 科学大付 1-0-0-0 (東京A) 越 得点者「長」原口
【評】攻守でアグレッシブだった長崎総合科学大付が、後半にセットプレーから決勝点を挙げた。前半は中盤でボールを奪い、シフトカウンタからFW永田らが果敢にシュートを放った。前半のうちにDF児玉が負傷退場し、相手に押し込まれる場面もあったが、後半は立て直した。中盤のMF高良がバランスを取り、全責守備・全責攻撃を展開。CKからDF原口が得点を奪って以降も積極性を失わなかった。堀越は攻撃と守備でシ

DF児玉が前半38分に相手と交錯して負傷退場。攻勢が一転、劣勢を強いられるようになったが、定方コーチは、選手がよく頑張ったように感じた。定方コーチは、選手がよく頑張ったように感じた。前線から激しいボールを奪いに行き、前回8強チームのパスサッカーをかき合った。県勢は第99回大会まで18勝を挙げ、そのうち小嶺監督が率いたチームは実に83の勝利を積み上げていた。島原商で11勝、国見で優勝6度を含む65勝、そして長総大付で7勝。第63回で初優勝した島原商も前年まで小嶺監督に教わった選手たちが成し遂げたことから、ほぼ9割がその手腕によるものと言える。体調不良のため1回戦に続いてベンチ入りはかなわなかったが、小嶺サッカーをたたき込まれた選手たちが今大会2勝目を勝ち取った。

3回戦の相手は夏のインターハイで8強入りしている東山(京都)。年代別日本代表候補を複数抱える強豪だ。この日、精度の高い左足キックでアシストしたDF平山は「次も自分たちのプレーさえできれば勝てる」。大みそかに区切りの100勝目を挙げ、新年最初の試合で第96回大会以来となる8強入りを目指す。(中島宙)

小嶺サッカーで記念の勝利



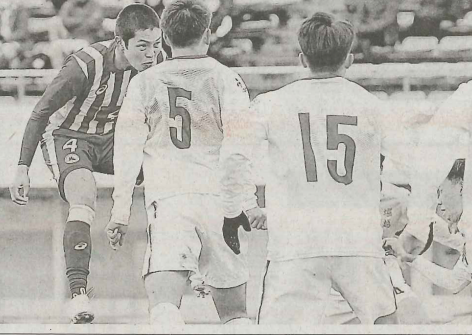
【2回戦】長崎総合科学大付「堀越」前半13分、長崎総合科学大付のMF原口(左から2人目)らがFKを掛けてボールを奪う。駒沢陸上競技場(瀧崎武撮影)

ひと言

◆定方敏和コーチ 堀越は非常にうまいチーム。選手は本当に走って頑張った。(児玉の負傷退場は)キャプテンでもあり、チームの中心人物なのでどうしようかと思ったが、代わりに入った選手もしっかりトレーニングを積んでいるので、そこは安心。自信を持って臨めと送り出した。◆DF平山零音 (1年生ながらセットプレーのキッカーを任せられている)キック精度が高くないので、人よりも場所に蹴ることを意識している。必ず、そこに入ってくる。選手権は他の公式戦と全然違う雰囲気。でも緊張せずにやっている。◆DF原口玖星 (センターバックの児玉が負傷退場して)スライドやラインの押し上げを統率しないといけない場面もあったので、GKとのコミュニケーションを多くして、自分の分たちが声を掛けてミスはなくしたい。

【2回戦】長崎総合科学大付「堀越」後半21分、長崎総合科学大付のDF原口(左)がディンシュートを決める。(瀧崎武撮影)

駒沢陸上競技場(瀧崎武撮影)



センターバックの3年生が2戦連続の決勝ゴールを挙げた。長崎総合科学大付のDF原口。1回戦で得点した際は「点を取ったのがいつ以来なのかもよく覚えていないと驚いていたが、この日は「決めてやる」と思っていた」。有言実行の活躍でチームを新国立へまた一歩近づけた。後半21分の右CK。チームが獲得した6本目のCKだった。「平山がすっというボールを上へてきた。自分の立ち位置に入って合わせるだけだった。頭の正面で丁寧に合わせ、ゴール前をぶくろ相手の間を抜いた。

ヒーロー

「決めてやる」有言実行の活躍。今大会の3点はすべてセットプレーから。重要な得点ゲッターと位置付け、本書に近くにつれて練習時間を増やしていた。それだけでなく、夜も選手主導で模造紙にまとめるなど緻密に練り上げる徹底ぶり。努力が報われて、一点を取れたのは味方の頑張りと仲間への感謝です。背番号4の奮闘は得点インだけににとまらないう。前半30分を待たずに負傷退場した主将のDF児玉から腕章を託されてチームを統率。無失点で切り抜けた。「児玉が抜けるのは痛ましかったけれど、キャプテンマークを善いたからには『自分が頑張るから』と伝えた。見事に代役をやり遂げ、攻守にわたって輝きを放った。(中島宙)

△2回戦 青森山2 6-0-0 (鳥根) 越 得点者「青」須川、田沢、松木、小湊、宇野 佐賀東2 1-0-0 山梨学院 得点者「佐」山崎 静岡学園1 1-0-0 山梨学院 得点者「静」小泉 前橋東6 4-2-0 0-3 重 得点者「前」小池2、大竹、渡辺、筑前、高尾 (東京B) 0-0-0 尚 志 (東京B) 0-0-0 (福島)

東山 2-1-0-0 市原野 得点者「東」阪田、船田 鹿島学園 2-1-0-0 高松商 (茨城) 得点者「鹿」上野、裕村 帝京商 3-2-0 2 神村学園 (新潟) 得点者「帝」尾花、三宅、神木 富田 1-1-0-0 富山第一 得点者「富」外山 阪南大 8-5-0 奈良育英 (大阪) 得点者「阪」三田、鈴木 木下

大津 4-3-0-0 東福岡 得点者「大」川口2、高畑、稲垣 大塚 2-2-0-1-2 米子北 (栃木) 得点者「大」藤井、藤井、P.K.2 得点者「大」片岡、藤井「米」福田、山田

山梨学院 2-2-0-1 岡山学院 得点者「山」林、崎山、出岡 (神奈川) 得点者「岡」帝京大可 (P.K.7) (岐阜) 得点者「山」滝川、小嶋、松野 山梨学院 2-0-1-1 滝川一 得点者「山」佐藤、澤野、尾花、山田

東山 2-1-0-0 市原野 得点者「東」阪田、船田 鹿島学園 2-1-0-0 高松商 (茨城) 得点者「鹿」上野、裕村 帝京商 3-2-0 2 神村学園 (新潟) 得点者「帝」尾花、三宅、神木 富田 1-1-0-0 富山第一 得点者「富」外山 阪南大 8-5-0 奈良育英 (大阪) 得点者「阪」三田、鈴木 木下

大津 4-3-0-0 東福岡 得点者「大」川口2、高畑、稲垣 大塚 2-2-0-1-2 米子北 (栃木) 得点者「大」藤井、藤井、P.K.2 得点者「大」片岡、藤井「米」福田、山田